

～子どもたちは今・・・～



たまご組(0・1 歳児)

新年度を迎え、子ども達にとって新しい環境がスタートしました。生活の場が家庭から幼稚園へと広がった、新入園児の子ども達。毎日たくさんの刺激を受け、笑ったり、泣いたりすることで、それぞれの気持ちを表現してくれています。保育者の抱っこや膝に座って遊ぶなど、スキンシップを大切にしています。保育者の顔を覚え、保育室のコーナーや遊びなどに少しずつ安心を感じられるようになると、保育者と同じ空間の中で、保育者から離れて遊び始める姿が見られるようになってきました。

進級時は、伝い歩きや一人歩きができる子ども達が増え、行動範囲が一気に広がっています。自分の足で行きたい場所に行けることが嬉しい子ども達。好奇心も旺盛になり、探索活動も盛んです。園庭に咲いた色々な草花を見たり、虫を見つけたりしています。暖かい春の日差しを感じながら心と体をたくさん動かし、戸外遊びも存分に楽しんでいきたいと思います。個人差の大きいたまご組だからこそ、一人ひとりの性格や歩みをたいせつに受け止め、見守っていききたいと思います。



ことり組(2 歳児)

「ことり組のお部屋に遊びに行ってみる？」と伝えると「行く～！」と即答の子どもたち。たまご組保育室からスロープを通過してことり組へ。ドキドキ、わくわくで、おっかなびっくり足を踏み入れていました。でも、目新しい玩具や馴染みの玩具を見つけると目はキラキラ輝いて、お人形を抱っこしたり、ままごとコーナーでお料理、パズルにも挑戦したりと遊びに夢中でした。「あしたも来る?」「また来ようね」とことり組の保育室に興味深々の子どもたちです。

新年度を迎え、ことり組での毎日が始まりました。あこがれだったペンギンバッジを胸につけてもらい、おおきくなったでしょ！と誇らしげな子どもたち。毎日みんなでバッジを見せ合っています。リュックを背負って登園し、保育者の見守りの中、自分でコップやノートも出してみようとしています。戸外では、プランターの花を見たり、桜の花びら集めや虫探しなど、春を感じながら遊んでいます。少しずつ新しい環境に慣れて、いっぱい遊んでいっぱい食べて大きくなろうね。1年間、毎日元気いっぱい過ごしましょう！！



すみれ組(3 歳児)

3月のことり組保育参観では、おうちの方を自分のお気に入りの場所に案内したり、草花や木の実を集めたりしてお店やさんが展開されていました。あそびの広場全体を走り回ってのしっぽとり。お父さん、お母さんを追いかけて、自分たちも取られないように必死で逃げていました。みんな走るのが速かったですね。砂場や床下でもお家の人と一緒に遊んでいつも以上に嬉しい顔。笑顔であふれた時間となりましたね。その後の毎日、クラスみんなでどろんこ遊び、ボールを投げたり蹴ったり、だるまさんころんだなども楽しんでできました。

ことり組のペンギンバッジを胸につけてもらってから1年。「先生、できない。やって。」から「先生、見ててね。やってみる。」と生活面でも遊びでも自分から挑戦する姿が多くなりました。「今度は赤いバッジだよ!」「大きいトイレにも行くんだよ」「ベッカムにも乗れるんだよ」と期待でいっぱいな子どもたちです。

新しい年度、クラスも2つに分かれて新しいお友だちも一緒です。ことり組で積み重ねてきた、話を聞くこと、見ることを大切にしながら、いろいろな体験をいっぱいしてほしいと思います。



ひつじ組(4 歳児)

クッキングやポニー当番の練習を通して、ひつじ組やほし組にあこがれ、進級に向けて期待を持って過ごした子どもたち。卒園を控えたほし組さんから教えてもらったポニー当番は、やる気いっぱい！回を重ねるごとに自分から動いたり、分からないことをほし組さんに聞いたり、自主性を発揮していました。「ほし組さんみたいにピザを作るにはケーキや寒天でまず修業しないとね！」とアドバイスをもらい、ケーキ作りにも挑戦。子どもたち同士で声をかけ合い、助け合いながら、夢中になってクッキングをする姿がありました。

「次は黄色い名札になるんだ！」「ひつじ組のかっこいいお兄さん、お姉さんになるんだ！」と遊びや生活の中で子どもたちの意識が高まっています。昨年 4 月、ロッカーからぎこちない動きで取り出していたエクセルケースを、今では自分たちの手で掃除しています。そうきの絞り方や床の拭き方も、一年を通して覚えてきました。みんなで楽しく過ごした部屋、使ったものを振り返り、大きくなったことを実感しながら、進級を楽しみに待っていました。

新しい年度を迎え、部屋も新たに、クラスのお友達も少し変わり、期待で胸がいっぱいな子どもたちです。すみれ組で頑張ってきたこと、大好きなことを大切にしながら、新しい体験をどんどん増やし、大きくなったことに喜びを感じながら過ごしてほしいと願っています。



ほし組(5 歳児)

ほし組になったら「ハッピーファームで大根をいっぱい作りたい！」「大豆も作りたい！」「ほし組さんが作ってくれたあずきのあんこ、美味しかったよね！」と、ほし組へ向けて気持ちがふくらむ子ども達。そんな中、お家の方と一緒に「お引越し」は特別な 1 日になりました。みんなで力を合わせて、ひとつひとつ引っ越し。エクセルケースの棚もほし組の棚はひと味違っておしゃれです。「うわー！ぶらさがった！」とケースを引っかけて収納する様式に、心を動かし、ひとつひとつに「楽しみ！」をふくらませる子ども達。

ほし組の卒園後、ベッカム当番や園の見回りの時にも、「まかせてっていったからがんばろう！」と卒園生との約束を思い出しながら、声をかけあって取り組む姿があります。

4 月に入り、預かり保育では、ことり組から進級した子ども達に、絵本を読んであげたり、お昼寝の支度を手伝ったり、泣いてる子のそばで寄り添ったり、と自分のできることを見つけて動き出す姿があります。いつの間にか、頼もしさを感じるようになりました。

さあ、いよいよあこがれのほし組が始まります。「えのぐが楽しみ！」「大工も教えてもらいたい！」「こううんきもできるかな？」と、ほし組になってやりたいことがいっぱいの子も達。これからのほし組の毎日、かけがえのない仲間と一緒に『自分達で毎日を作り出す喜び』にあふれて過ごしたいと思います。



預かり保育(3・4・5 歳児)

進級、入園おめでとうございます。

新年度が始まりドキドキ、ワクワクしている様子の子も達です。

春休み中の預かりでは、卒園生が在園児に色々な事を教えてくれました。ハッピーファームの雑草を抜いたり、遊びの広場のデコボコを埋めたり、掃除をしたり、自らの姿をみせる事でたくさんの事を伝えてくれました。そして卒園生がいなくなった 4 月。新すみれ組が預かりにきました。すると、ほし組とひつじ組が少しお兄さん、お姉さんの顔になってきたような気が……。ほし組がひつじ組にかめこのお世話の仕方を教えたり、すみれ組にお片付けの仕方を教えたり、絵本を読んであげる姿もみられました。

子ども同士のやりとりから学ぶことは多いですね。今年度もお迎えまでの時間を楽しく過ごせるよう、スタッフ全員で見守っていきたいと思います。